

2019年度 愛知学泉大学シラバス

科目番号	科目名	担当者名 (担当形態)	基礎・専門 別	単位数	選択・必修 別	開講年次・ 時期
2301116	教育課程論 Theory of Curriculum	近藤 茂明 (単独)	専門	2	必修	3年 後期
<b>科目の概要</b>						
<p>本授業では教師の資質能力の育成を目指し、教育課程に関わる基本的概念・内容を理解させる。総論部分は日本の教育課程や学習指導要領の歴史的変遷とその特徴ならびに諸外国の事情等を取り上げる。各論部分は教育課程の周辺の要素と実際の学習活動等を取り上げる。また、毎授業の進め方は基礎的内容の理解を土台として行い、必要に応じて適宜話し合い活動等を取り込んで、実践的な理解の習得や主体的な態度の育成にもつなげていく。</p>						
<b>学修内容</b>			<b>到達目標</b>			
<p>① 学習指導要領を中心とした教育課程に関する基本的概念・内容を理解する。</p> <p>② 基礎的内容の理解を土台として、実践的な内容を通じた具体的な学習活動(体験)を行う。</p> <p>③ 話し合い活動や文章記述等の言葉による表現活動を通して、自他の考えを深め合う。</p>			<p>① 教育課程論をめぐる基本的な内容や考え方を理解し、今日的課題と結びつけて考察することができる。</p> <p>② 教師の力量向上に必要な資質能力について、具体的な学習活動(体験)を通して気づくことができる。</p> <p>③ 集団的な学習活動を通して様々な考えを比較し、自分の考えを言葉で整理して表現することができる。</p>			
<b>学生に発揮させる社会人基礎力の能力要素</b>		<b>学生に求める社会人基礎力の能力要素の具体的行動事例</b>				
前に踏み出す力	主体性	自分自身の被教育経験、実生活、様々な関心と結びつけながら、学習活動や自己学習に取り組むことができる。				
	働きかけ力					
	実行力	自分の願いに沿った目標設定を行い、根気よく学習活動に取り組むことができる。				
考え抜く力	課題発見力	与えられた課題だけにとらわれることなく、自ら新たな課題を見出すことができる。				
	計画力					
	創造力	学習課題等に対して柔軟で多様な考え方で取り組むことができる。				
チームで働く力	発信力	グループワークや全体発表において、自分の考えを整理して表現することができる。				
	傾聴力	グループワークや全体発表において、他者と自分の考えを比較しながら、より深い考えを導き出すことができる。				
	柔軟性					
	状況把握力					
	規律性	遅刻や私語等、授業に支障をきたす行動を自粛して、円滑な学習活動を心がけることができる。				
	ストレスコントロール力					
<b>テキスト及び参考文献</b>						
<p>テキスト:教科書は特に使用しない。(毎授業開始時に必要なプリント類を配付する)</p> <p>参考書:文部科学省『中学校学習指導要領』(平成29年3月最新版)</p>						
<b>他科目との関連、資格との関連</b>						
<p>他教科との関連:教育原理・教職入門(1年次)、教育方法論(2年次)、教育実習指導(4年次)</p> <p>資格との関連:中学校ならびに高等学校教諭一種免許(家庭)、栄養教諭一種免許</p>						
<b>学修上の助言</b>			<b>受講生とのルール</b>			
<p>毎授業中のグループワークや全体発表では、積極的な交流を心がけるとよい。</p> <p>毎授業最後に小レポートでは、授業を通して気づいたことや深く考えたことを整理して表現するとよい。</p> <p>毎時間の学習内容は、家庭学習において関連する情報収集を積極的に行うとよい。</p>			<p>毎授業で配付する学習資料の予備は前回分しか保管しないので、忘れた際には出席者にコピーをもらうようにする。</p> <p>授業開始時には必ず携帯電話の電源を切るとともに、授業に向かう気持ちの切り替えを行うこと。</p>			

【評価方法】

評価方法	評価の割合	到達目標	各評価方法、評価にあたって重視する観点、評価についてのコメント	
筆記試験	40	①	✓	<ul style="list-style-type: none"> <li>設問内容の趣旨を理解し、授業内容をふまえて自分の見解を論理的に展開し、記述しているかを評価する。</li> <li>以下の4項目の記述ポイントを合格の基準とする。 <ul style="list-style-type: none"> <li>授業内容を基に記述しているか。</li> <li>論点を整理して記述しているか。</li> <li>自らの被教育(学習)経験をふまえて記述しているか。</li> <li>自ら考えた代替案等を具体的に提示しているか。</li> </ul> </li> </ul> (4項目+独創性=S、4項目=A、3項目=B、2項目以下=D)
		②		
		③		
小テスト				
レポート	40	①	✓	<ul style="list-style-type: none"> <li>毎授業の最後に行う小レポートの点数を平均して判定する。(授業内容をふまえ、自分の考えをどこまで整理し深めることができたかを判定する)</li> </ul>
		②	✓	
		③		
成果発表 (口頭・実技)	10	①		<ul style="list-style-type: none"> <li>グループワークや全体発表等における表現内容・方法の明確さを評価する。</li> <li>話し合い活動を高めていくための意見発表等における貢献度も評定として加える。</li> </ul>
		②	✓	
		③	✓	
作品				
社会人基礎力 (学修態度)	10	①	✓	<ul style="list-style-type: none"> <li>(主体性)</li> <li>学習課題を自分自身の経験や関心に引きつけて取り組むことができる。</li> <li>(実行力)</li> <li>明確な目標設定を行い、それに向かって根気よく取り組むことができる。(課題発見力)</li> <li>与えられた課題を広げ深め、自分自身の課題として発展させることができる。(創造力)</li> <li>他者の考えを柔軟に受け入れ、多様な学習活動に取り組むことができる。(発信力)</li> <li>自分の考えを整理し、相手に分かりやすく伝えることができる。(傾聴力)</li> <li>相手の考えのよさを受け入れながら自分の考えを深めることができる。(規律性)</li> <li>遅刻や私語を自粛し、円滑な学習活動を創り出すことができる。</li> </ul>
		②	✓	
		③	✓	
その他				
総合評価 割合	100			<ul style="list-style-type: none"> <li>全授業の最後に行う筆記試験だけでなく、毎回の授業の最後に行う小テストや話し合い活動、さらには授業への貢献度も含めて、総合的な判定を行う。</li> </ul>

【到達目標の基準】

到達レベルS(秀)及びA(優)の基準	到達レベルB(良)の基準
<ul style="list-style-type: none"> <li>筆記試験において、論点を明確に整理して自分の考えを論理的に記述できている。</li> <li>小レポートにおいて、該当授業の要点を的確にまとめ、焦点を絞って自分の考えを振り返ることができている。</li> <li>話し合い活動や発表において、他者を受け入れながら、多様な考えを表現することができている。</li> <li>授業参加において、全体の学習活動の高めていこうとする積極的な態度をもって授業に貢献することができている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>筆記試験において、論点をふまえて自分の考えを記述できている。</li> <li>小レポートにおいて、該当授業の内容に触れ、自分の考えを振り返ることができている。</li> <li>話し合い活動や発表において、自分の考えを整理して表現することができている。</li> <li>授業参加において、自分自身を自制した態度で、学習活動に取り組むことができている。</li> </ul>

週	学修内容	授業の実施方法	到達レベルC(可)の基準	予習・復習	時間(分)	能力名
1週 /	<ul style="list-style-type: none"> <li>本授業の全体概要と進め方、留意事項を理解する。</li> <li>教育課程の中核的要素を整理する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>ガイダンス</li> <li>講義</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>教育課程の基本的構造を理解することができる。</li> </ul>	(復習)自分自身の被教育経験を振り返る。授業内容を確認、整理する。	90	規律性 主体性
2週 /	<ul style="list-style-type: none"> <li>教育課程の歴史①(世界の近代教育史)の概要を理解する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>講義</li> <li>質疑応答</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>世界の近代教育史における教育課程のあり方に関心をもつことができる。</li> </ul>	(予習)近代教育史の中心人に関する調べ学習を行う。	90	課題発 見力 主体性
3週 /	<ul style="list-style-type: none"> <li>教育課程の歴史②(日本の近代教育史)の概要を理解する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>講義</li> <li>質疑応答</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>日本の近代教育史における教育課程のあり方に関心をもつことができる。</li> </ul>	(予習)近代日本の歴史に関する調べ学習を行う。	90	課題発 見力 主体性
4週 /	<ul style="list-style-type: none"> <li>諸外国の教育課程①(フィンランドの教育制度)の特徴を理解する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>講義</li> <li>質疑応答</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>フィンランドと日本の教育制度の違いに気づくことができる。</li> </ul>	(予習)フィンランドの教育制度に関する調べ学習を行う。	90	課題発 見力 創造力
5週 /	<ul style="list-style-type: none"> <li>諸外国の教育課程②(アメリカの学力教育政策)の特徴を理解する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>講義</li> <li>質疑応答</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>アメリカと日本の学力教育政策の違いに気づくことができる。</li> </ul>	(予習)アメリカの学力教育政策に関する調べ学習を行う。	90	課題発 見力 主体性
6週 /	<ul style="list-style-type: none"> <li>学習指導要領の概要①(基本的骨子・内容、幼稚園教育要領との比較)を整理する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>講義</li> <li>質疑応答</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>学習指導要領の内容骨子を理解することができる。</li> </ul>	(予習)学習指導要領と幼稚園教育要領を比較して読む。	90	課題発 見力 主体性
7週 /	<ul style="list-style-type: none"> <li>学習指導要領の概要②(歴史的変遷とその特徴)を整理する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>講義</li> <li>質疑応答</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>学習指導要領における系統-経験の揺れ動きを理解することができる。</li> </ul>	(予習)学習指導要領を熟読する。	90	課題発 見力 主体性
8週 /	<ul style="list-style-type: none"> <li>学習指導要領の概要③(最新改訂の特徴)を理解する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>講義</li> <li>質疑応答</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>学習指導要領の最新改訂版の動向を理解することができる。</li> </ul>	(予習)新旧の学習指導要領を比較読みする。	90	課題発 見力 主体性

能力名: 主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性  
ストレスコントロール力

週	学修内容	授業の実施方法	到達レベル C(可)の基準	予習・復習	時間(分)	能力名
9週 /	・教育課程の周辺①(教科書制度と教師の役割)について検討する。	・講義 ・グループ活動	・教育課程における教科書と教師の役割に関心をもつことができる。	(予習)教科書検定に関する調べ学習を行う。	90	主体性 課題発見力
10週 /	・教育課程の周辺②(教育評価の意味)について検討する。	・講義 ・グループ活動	・教育課程における評価の意味に関心をもつことができる。	(予習)自分自身の通知表の特徴について振り返る。	90	主体性 課題発見力
11週 /	・教育課程の周辺③(カリキュラムマネジメントの役割)について理解する。	・講義 ・質疑応答	・学校の教育課程を活用する意味に気づくことができる。	(予習)カリキュラムマネジメントに関する調べ学習を行う。	90	主体性 課題発見力
12週 /	・教育課程の実際①(多様な学習形態:個別学習、プロジェクト活動の特徴)について検討する。	・講義 ・グループ活動	・教育課程を実現するための多様な学習形態に関心をもつことができる。	(予習)個性化教育やプロジェクト活動に関する調べ学習を行う。	90	主体性 課題発見力
13週 /	・教育課程の実際②(生活科・総合的な学習の時間の特徴)について検討する。	・講義 ・グループ活動	・自分自身の生活科や総合的な学習の時間の経験を振り返ることができる。	(予習)自身の生活科・総合的な学習の時間の経験とその価値を振り返る。	90	主体性 実行力 傾聴力 発信力
14週 /	・教育課程の実際③(小学校の英語活動、ジェンダー教育)について理解する。	・講義 ・グループ活動	・小学校における英語活動、ジェンダー教育の意味に気づくことができる。	(予習)小学校の英語活動またはジェンダー教育に関する調べ学習を行う。	90	課題発見力 傾聴力 実行力
15週 /	・教育課程の今日的課題(シティズンシップ、ESD、メディアリテラシー等)について検討を加える。	・講義 ・グループ活動	・教育課程の今日的課題に関心をもって考えようとする。	(予習)シティズンシップ、ESD、メディアリテラシーに関する調べ学習を行う。	90	課題発見力 実行力 発信力

能力名: 主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性  
ストレスコントロール力